

番号：140517

国名：メキシコ

担当：農村開発部

案件名：乾燥地に適応した魚種・作物種を用いたアクアポニックスによる水の有効利用と持続的食料生産プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年8月上旬から2014年9月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.73M/M、合計 1.23M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	22日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：7月16日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年 2月26日以降の業務実施契約(単独型) 公示案件(再公示含む) より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型) 簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)) をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点

(計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	メキシコ／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

メキシコの GDP に占める農林水産業の割合は 3.3%であり、労働人口の 14%が従事している（国連 2011 年）。同国では、トウモロコシ、サトウキビの他、生産量・輸出額で世界第 1 位のアボカドや、輸出額で世界第 2 位のトマト、同 3 位のチリペッパーなど、園芸作物の栽培が盛んに行われている。

これら園芸作物は、約 2500 万 ha の耕地の約 3 分の 1 を占める北西部の乾燥地においても栽培されている。同地域の農業は地下水に依存せざるを得ない状況であるが、近年は過度の取水による地下水位の低下や、塩分濃度の高い地下水利用による土壌の塩類化も見られており、持続的な食料生産のためには、水資源の効率的利用と水質の確保が求められている。

一方で、メキシコ北部地域は養殖業も盛んに行われており、全国の養殖ユニットの 5 割以上が稼働している（2011 年 FAO）が、内水面養殖の場合は、使用する地下水の塩分濃度が問題となり、また、水資源利用において、作物栽培との競合が起こっている。

このため、耐塩性の魚種を選抜して養殖し、また、養殖池からの排水を耐塩性作物の水耕栽培に利用することで、排水中の塩分濃度を下げて限りある水資源を有効活用することが期待されている。さらにその後、塩分濃度が下がった水耕栽培の排水を付加価値の高い作物の露地栽培に利用することで、土壌の塩類化を抑えながら農業生産を最大化することが期待されている。

こうした状況からメキシコ政府より、国立大学法人鳥取大学を日本側研究代表機関として、メキシコ国北部生物学研究センター（Northwest Biological Investigation Center: CIBNOR）を主たる共同研究機関に、乾燥地において塩分濃度の高い灌漑用地下水を効率的に使用し、養殖と農業を組み合わせたアクアポニックスシステムの構築・普及を目的とした「乾燥地に適応した魚種・作物種を用いたアクアポニックスによる水の有効利用と持続的食料生産プロジェクト」（以下、本プロジェクト）が、地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）案件として要請された。

今回実施する詳細計画策定調査では、本プロジェクトの計画枠組み、実施体制、成果と活動等を整理したうえで、プロジェクトの内容を確認・協議し、プロジェクトに関する合意文書（M/M）への締結を行うとともに、事前評価を行うことを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクト及び SATREPS 事業の仕組みと手続きを十分把握し、他の調査団員と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。また、他の調査団員が作成する報告書（案）を含めた報告書（案）全体のとりまとめに協力する。なお、JICA 事業評価における評価基準・手続きについては、監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間 (2014年8月上旬～中旬)

- ①要請内容及び背景を把握する。(関連報告書等の資料による情報の収集や分析)
- ②現地調査で相手国関係機関及び他ドナーから収集すべき内容を検討する。
- ③担当分野に係る詳細計画策定調査計画及び方針案を検討する。
- ④相手国関係機関、他ドナー等に対する質問票案(和文・英文)を作成する。
- ⑤M/M(案)(PDM、PO(案)含む)(和文・英文)および事業事前評価表(案)(和文・英文)の担当分野関連部分の作成に協力する。
- ⑥類似プロジェクトに関する資料・情報の収集、分析を行う。
- ⑦事前調査団打合せ、対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間 (2014年8月中旬～9月上旬)

- ①JICAメキシコ事務所等との打合せに参加する。
- ②メキシコ側関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③事前にJICAメキシコ事務所を通じて相手国機関、他ドナー等に配布した質問票を回収・分析するとともに、担当分野に係る以下の情報を収集し現状を把握する。またこれら情報を他の団員と共有する。
 - ア メキシコ国関係機関の開発計画における本プロジェクトの位置づけ
 - イ メキシコ国側の業務実施体制(組織・予算・他機関との関係性等)
 - ウ その他、事業事前評価表(案)の作成に必要な各種情報
 - エ メキシコ国関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ④協力対象地域の現況把握のための現地調査を行う。
- ⑤協力内容の検討を行い、PDM(案)(和文、英文)、PO(案)(和文、英文)の作成を支援する。
- ⑥メキシコ側関係者との協議で合意された内容につき、M/M案(和文・英文)、R/D(案)(英文)の取りまとめ、署名及び交換に向けた準備に協力する。
- ⑦評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表(案)(和文・英文)の取りまとめに協力する。
- ⑧担当分野に係る現地調査結果をJICAメキシコ事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2014年9月中旬)

- ①評価調査結果要約表(案)(和文・英文)を作成する。
- ②帰国報告会に出席する。
- ③担当分野の調査結果を取りまとめ、詳細計画策定結果(案)(和文)を作成し、全体の取りまとめに協力する。(所定様式あり)

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書は以下のとおり。

担当分野に係る詳細計画策定結果(案)(担当分野): 和文1部

なお、上記成果品の体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出する。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積を計上して下さい）。航空賃については、成田（日本）－メキシコシティ（メキシコ）間のみを計上して下さい。メキシコ国内の移動については、JICA メキシコ事務所が手配します。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年8月17日～2014年9月7日を予定しています。本業務従事者は、当機構の調査団員に1週間先行した現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 研究総括（研究代表者）
- ウ) 協力企画（JICA）
- エ) 評価分析（コンサルタント）
- オ) SATREPS計画・評価（JST）
- カ) SATREPS計画・評価（JST）

③便宜供与内容

当機構メキシコ務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舍手配
あり
- ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）
- エ) 通訳備上
日本語⇄スペイン語の通訳を現地にて備上予定
- オ) 現地日程のアレンジ
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ
- カ) 執務スペースの提供
先方との協議先及び宿泊施設で作業を行う予定です。

(2) 参考資料

本プロジェクトに関する以下の資料が当機構のウェブサイトで公開されています。
・2014年度「地球規模課題対応国際科学技術協力(SATREPS)」新規採択案件の決定について
http://www.jica.go.jp/press/2014/20140416_01.html

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 語学については、スペイン語ができれば望ましい。

以 上